

去年は、悲しくつらい出来事が起きた年でしたが、女子サッカーワールドカップで優勝したなでしこジャパンの試合を見て、励まされる思いを抱いた人は多かったのではないのでしょうか。時には練習場所さえ欠く厳しい環境の中、なでしこジャパンの選手たちは「サッカーを続ける」「ワールドカップに出場する」という目標に向け、ひたむきな努力を積み重ねてきました。

私たち一人ひとりには夢や思いがあります。けれど、その夢や思いの実現に向け努力しているのでしょうか？「実現がとても難しそう」とか、「きつと私には無理だろう」と考え、努力や準備をしていない場合が多いように思われます。けれど、本当に実現は難しいのでしょうか？日ごろ努力しなければ実現は難しいでしょうが、少しずつでも準備すれば、夢の実現へ近づくはずです。

ある塾の先生が「大人は生徒たちの夢が簡単には実現しないと思ってしまう場合が多いが、実際にそうだろうか？」と言っていました。外交官になりたいと言っていた子どもは実際に海外で…と、夢を実現したり、夢へ近づいたりし

夢と可能性

ている例をあげ、子どもたちの希望を大人が勝手に実現困難と決めつけることに疑問を投げかけていました。一人ひとりの力を信頼し、未来への可能性に前向きになる姿勢が、大人には弱いのではないか、という問いかけであつたのかもしれない。

子どもたちは夢や希望を持っています。実現へのハードルがとても高く、競争が激しい分野の夢を聞いた時、大人は無意識に「ああ、まだ子どもだな、簡単にはなれないだろうに」と思いがちです。けれど、その中に将来のなでしこの選手たちもいたのです。そして、彼女たちは夢を実現しました。

夢に向かう子どもたちを信頼し、前を向いて共に歩む大人になりたと思います。そのために、そして自分のために、夢や思いを大切にしたいと思います。日常にかまけ、夢は後回しになり、そのうち準備もおろそかになり、自分には無理と言いついてはいないのでしょうか。まずは第一歩から、準備を始めてみませんか。

お問い合わせは

人権啓発広報委員会

(880・6569) まで